

## 平成29年度学校評価（学校関係者評価）

H30.3.30

兵庫県立八鹿高等学校

3月30日現在

## 【学校経営の重点目標】

- (1)「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をそなえ、夢や志をもち、その実現に向けてたくましく生きる人間を育成する。
- (2)生徒の個性や創造性を伸ばすとともに望ましい勤労観や職業観を育む進路指導を推進し、生徒が主体的に自らの未来を切り拓く力を培う。
- (3)公共の精神や人権尊重の精神に基づき、互いを思いやり尊重し、命や人権を大切にすることを育むとともに、社会を構成する一員として主体的に行動する力を培う。
- (4)各部・各学年の連携を密にし、組織的・機能的に学校経営を推進する。
- (5)学校・家庭・地域との連携を深める中で、地域の伝統と文化に根ざした教育活動を充実させ、地域に期待される学校づくりを進める。

A…よくできた B…できた C…あまりできなかった D…できなかった

領域		評価項目	評価の主材料（例）	A	B	C	D	平均	昨年度
1	学校の運営	機能的な校務分掌により協働体制が確立され、各部・学年間の連携がとれているか。また職員の提言や創意工夫が生かされる学校の運営がなされているか。	校務分掌 会議運営 連絡調整	7	18	2	0	3.3	3.0
2	学校運営 開かれた学校づくり	学校からの情報発信（各種通信、HPの更新等）と家庭や地域からの情報受信が効果的に機能し、開かれた学校づくりが推進され、学校運営の充実・改善に生かされているか。	各種通信 ホームページの更新 オープンハイスクール オープンスクール 文化部合同発表会 地区懇、保護者会	15	10	2	0	3.5	3.1
3		学校評議員、生徒、保護者、地域住民等の意見や要望を学校の運営に反映させることができているか。	学校評議員会 学校関係者評価 連絡協議会 地区懇、保護者会	4	20	3	0	3.1	3.1
4		職員の資質向上	実効性のある研修・研究が行われ、その成果が教育活動の充実に役立っているか。	各種職員研修 公開授業（授業見学） 研究授業	2	15	9	1	2.7
5	本校の将来構想	本校の教育ビジョンを全教職員が共通理解し、その実現に向けた取り組みを推進することができているか。	ビジョン委員会 各部・学年の取り組み 類型・コースの特色化	3	17	7	0	2.9	2.9
6	環境教育の推進	安全で快適な学校環境を整えることができたか。また、地域や地球の環境といった視点からの取組を充実させることができているか。	清掃活動・安全点検 省エネ・リサイクル PTCA清掃活動	5	19	3	0	3.1	2.9
7	教育企画 体験的活動の充実	地域と連携した体験活動を充実させ、各教科・科目の学習の成果の統合や、新たな発見による豊かな人間性の育成を図ることができているか。	インスパイアハイスクール ふれあい育児体験 ふれあい看護体験 PTCA清掃活動 文化部各種演奏・発表会 ふるさと貢献事業 さんすう・こくご教室	12	14	1	0	3.5	3.5
8	学校行事の充実	多様な特色ある学校行事を通じて豊かな人間性を養うことができているか。	新入生オリエンテーション 修学旅行、球技大会 文化祭、体育祭 合唱コンクール	17	10	0	0	3.7	3.7
9	文化活動の充実	文化活動を充実させ、芸術や伝統文化への理解を深めるとともに、それらを愛する心を育むことができているか。	文化祭、合唱コンクール 文化部合同発表会 芸術鑑賞	18	9	0	0	3.7	3.6
10	教育課程の改善・充実	生徒の興味・関心や進路希望に応じた教育課程を編成し、教育目標の達成に効果を上げているか。	教育課程の構築・改善	1	17	9	0	2.7	2.9
11	学習指導 確かな学力	学習時間の確保とともに効果的な週末課題等により基礎基本を確実に定着させるとともに、コースや類型に則した特色ある学習指導を通して、学力を向上させることができているか。	シラバス作成 習熟度別少人数指導 成績評価の工夫 個に応じた指導 週末課題	4	18	4	1	3.0	3.0

領域		評価項目	評価の主材料（例）						平均	昨年度
12	学習指導	図書活動の充実	図書館の利用や図書委員会の活動を充実させ、人間性の涵養、学力・教養の向上、個の確立をサポートすることができるか。	図書館利用 広報・啓発活動・図書館だより 先生による本の紹介・読書会	6	15	6	0	3.1	3.1
13		情報モラル教育	ネット（LINE・ツイッター等）による誹謗中傷といった今日的課題を克服する力を育成することができるか。	生活指導・教科等における指導・講演会の実施（保護者対象講演会も含む）	6	17	4	0	3.1	3.1
14	生徒指導	規律と規範意識の確立	校則や生活面の指導方針を明らかにして統一した指導を行い、ルールやマナーを自ら守る意識を育てることができるか。	服装・頭髮・携帯電話 通学マナー・部室利用マナー 学校生活全般 下校時刻の厳守	5	19	3	0	3.1	3.1
15		特別活動の充実	生徒会活動、ホームルーム活動を通じて、生徒の主体性や人間関係の構築能力等を伸ばすことができるか。	生徒自治会活動 各種委員会 ホームルーム活動	8	19	0	0	3.3	3.2
16		課外活動の充実	部活動を活性化させ、生徒の豊かな人格形成を促すことができるか。	文化部活動 運動部活動	14	12	1	0	3.5	3.4
17	進路指導	人権意識の高揚	人権意識を高める教育を充実し、共生社会の実現に向けた実践的な力を育成することができるか。	人権アンケート 人権ホームルーム 手話講座 ガイドヘルプ 特別支援学校との交流 施設訪問 いじめ対応チームの活用 いじめアンケートの実施	8	17	2	0	3.3	3.3
18		職業観・勤労観の育成	卒業生や地域人材の活用、見学や体験活動を通じて、生徒の職業観・勤労観を高めることができるか。	先輩からのメッセージ OB進路懇談会 大学企業等社会見学 インターンシップ	11	12	4	0	3.3	3.0
19		主体的進路決定能力の育成	生徒一人一人の希望に応じた進路情報の提供や進路相談を充実させ、主体的な進路決定能力を高めることができるか。	進路ガイダンス 情報提供、進路相談 進路ホームルーム	11	15	1	0	3.4	3.1
20	体育保健	指導体制と成果	進路指導体制を強化し、進路実現を効果的にサポートできているか。	進路指導体制 進路実績	7	19	1	0	3.3	2.9
21		体育活動の充実	体力向上を目指した体育的行事の充実を図ることができるか。	体力テスト測定 体育祭、球技大会 クロスカントリー大会	17	10	0	0	3.6	3.5
22		心身の健康や安全に関する教育の充実	心とからだの健康に関する教育を充実させ、健康で安全な生活を実現する実践的な能力を高めることができるか。	救急救命法講習 熱中症対策講座 保健講演会	13	14	0	0	3.5	3.4
23	その他	教育相談並びに特別支援教育の充実	生徒の内面理解に基づいて心の教育を充実させる取り組みができているか。特別な支援を必要とする生徒に適切に対応できたか。また研修によって力量を高めることができたか。	キャンパスカウンセラーの活用 教育相談委員会活動、特別支援教育委員会活動、日常の相談活動、面談、家庭訪問、地域の医療・福祉機関との連携	11	15	1	0	3.4	3.2
24		確かな危機対応	感染症や警報等の緊急時にスムーズな対応ができているか。またそのシステムが構築できているか。安全・防災教育の推進ができているか。	感染予防・情報収集 生徒連絡・情報公開等 警備防災計画の整備 避難訓練の実施 マニュアルの周知と訓練 校外連携	11	14	2	1	3.3	3.0
25	その他	職場環境の改善	勤務時間の適正化について取り組めたか。健康的な職場作りができたか。	超過勤務の縮減に向けた各種取組（定時退庁日の設定・ノー残業デー・ノー部活デー・早く帰ろうデーの設定）職員室の冷暖房環境の向上、職員室の環境美化	3	10	10	4	2.5	2.5

番号	改善策等	学校関係者評価委員(評議員)によるコメント
1	会議は1時間で終わることを心がけている	
2	学校通信(八高だより)を月1回発行する。	
3	学校関係者評価委員は学校評議員と兼ねている。	
4	11月に授業公開日を設けているが、参加者は少なかった。	あまりできなかったと評価する職員が多いことが気になった。積極的な取り組みが必要である。
5	ビジョン委員会を3回実施した。委員のメンバーは意見を出したが班別による話し合いが十分に行われなかった。	2と評価している職員が多い。改善策が必要である。
6	P T C A清掃活動は本校生徒をはじめ、多くの参加者で実施した。	
7	「さんすうこくご教室」「理科出前授業」は、近隣の小学校等に向いている。	
8	恒例の行事等は充実しており、引継ぎ等が確実に行われている。	学校行事は積極的に実施している。特に3年生の取り組みはしっかりしている。
9	文化部合同発表会、合唱コンクール等多くの行事の中で、格調高い内容である。	
10	教育課程の充実と種類のありかた、クラス編成との関連を明確にしていくことが課題となった。	2と評価している職員が多い。具体的な取り組みが必要である。
11	ひょうご学力向上サポート事業を3年間実施、一定の効果はあったが、教職員自ら取り組みことが求められる。	
12	読書会、図書便り、図書貸出しの表彰等多方面にわたり読書啓発を勧めている。	
13	ネットによるいじめ防止等をテーマに、外部講師による講演会を実施した。	
14	校則等の遵守については、機会ある毎に指導している。	駅と学校間の通学マナーについては、通学時間帯に道一杯に広がっている。とても迷惑である。
15	生徒は、生徒連絡協議会等で学校生活についての意見要望を提示できる。	
16	十分に指導している。休日での部活動の指導時間が多い。	
17	人権ホームルーム、外部講師による講演会等をおして人権意識を高めた。	
18	自然科学コースの生徒は、天文台等を訪問、充実した体験となった。	
19	十分な進路情報を提供し、適切な進路指導を行っている。	多様な生徒に対して、指導していただいている。
20	生徒の進路希望に応じて、補習、個別指導等専門部学年団が協力して指導できた。	授業をはじめ、補習等日頃より熱心な指導をしていただいている。
21	球技大会、クロスカントリー、体育祭等学校行事は意欲的に指導を行っている。	
22	保健講演会、救急法等適切な指導を行い、有効な機会となった。	
23	生徒の内面に迫る指導を実施、多様な生徒が微増した1年間であった。適切に丁寧に指導を行った。	
24	熱中症対策、インフルエンザ対策等事前に適切な指導を行った。	
25	定時退勤日等具体的に取り組んだが、実際に職員の意識改革ができず、勤務時間の超過となった。引き続き取り組みを継続する。	最も低い評価となっている。多忙ではあるが、健康には配慮して無理をしないように勤務していただきたい。